

ゴーヘッドス 速報

Goaheads

第20号 平成27年8月30日

達脇粘投、祐介好走塁・・・

効率よく得点を重ね初戦突破！！

	1	2	3	4	5	6	7	8	R
I	0	0	0	2	0	2			4
G	3	0	1	0	2	×			6



我がチームの秋季区民大会が幕開けした。対戦相手は、過去1度対戦経験がある、一撃、しかしながら、大分前の話、更には区民大会という緊張の場面で、如何に守備でリズムを作り、投手がゲームを作り、打線が繋げるか？という野球の当たり前が出来ることが、勝利の分かれ目と感じ、今日の初戦に望んだ。先攻は一撃、マウンドには、久々の達脇が上がり、プレーボールとなった。その達脇は上々の立ち上がり、9球で打者三振を凡打に斬った。その裏の攻撃、先頭祐介が遊失で出塁、そして二盗を決める。2番が中前に運び、一死一・三塁と初回からチャンスを作った、三番は倒れ一死となったが、4番哲也は三塁に詰まった打球、この打球で三塁祐介が懸命にホームを目指し先制、更に5番が一二安で2点適時打、後続二打者は倒れたが、初回から3点を挙げる事に成功した。達脇は、2回・3回と0封。その3回の裏にゲームに動きが。この回先頭の3番が中前安打で出塁、4番哲也はフラフラと上がったライトへの飛球、しかし、これを野手が失策、だが、さすがにこの打球では、走者が動けず。二塁で封殺。5番も倒れ二死となったが、6番深沢が右中間2ベースで哲也を迎え入れ4点目を挙げた。しかし、徐々に疲れが見え始めた達脇、この回先頭に今日初の四球を与えた。ここから2連続安打を喫し、無死満塁と絶対のピンチと場面は化した。次打者を遊ゴロに斬り併殺かと思った瞬間、セカンドの送球ミスの中に1点失点。更には、7番にレフト前へ運ばれ2点目を失点。が、走塁ミスを見逃さず、RPで2アウト。そして、中飛に打ち取り失点を2点に抑えた。5回にまたもや我がチームにチャンスが訪れた。先頭は倒れ一死となったが、4番哲也が中前安打で出塁、そして5番が粘った結果、ラン&ヒットが決まり、一挙哲也が一塁より生還し5点目、更には、最近打撃上向きな山林が中前の2ベースで二塁走者を迎え入れ貴重な6点目をゲットした。が、野球はこれでは終わらない。最終回の達脇。先頭にアンラッキーな右前安打で出塁を許すと、2回のWPで走者が三塁に、結果この打者には四球を与え、無死一・三塁とリードしているにも関わらず、非常に気持ち的に押される展開を作ってしまった。この後7番にきっちりセンターに犠飛を決められ1失点。後続を見逃しに斬るも、次打者に三塁強襲安打を放たれ2失点。しかし、最後は空三振に斬り、無事初戦突破を決めた。

やはり今日の勝因は打線の繋がりであろう。野球は点取りゲーム、その点を取るタイミングで確実に点が取れた事が勝利の要因だろう。これから各試合厳しい戦いが続くが、自身を信じ、チームを信じ、勝利という2文字を常にゲットできるように頑張ろう。ただ、打線は水物なので、今日の無失策が勝利の大きな要因で有る事は言うまでも無い・・・